



2025年6月16日

各位

会社名 セントケア・ホールディング株式会社  
代表者名 代表取締役社長 藤間 和敏  
(コード：2374 東証プライム)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 瀧井 創  
(TEL. 03-3538-2943)

## 中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、2027年3月期を最終年度とする中期経営計画における業績目標につきまして、計画策定時において想定していた前提条件と大きく異なる状況となったことから、2025年2月7日に業績目標を取り下げておりましたが、直近の業績および当社グループを取り巻く事業環境等を総合的に勘案し、本日開催の取締役会において、下記のとおり見直すことといたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績目標および主要指標

(単位：百万円)

|                         | 2024年3月期 | 2025年3月期 | 2026年3月期 | 2027年3月期 |
|-------------------------|----------|----------|----------|----------|
|                         | 実績       | 実績       | 目標       | 目標       |
| 売上高                     | 54,057   | 56,298   | 58,588   | 61,277   |
| 営業利益                    | 3,034    | 2,429    | 2,061    | 2,283    |
| 経常利益                    | 3,155    | 2,465    | 2,026    | 2,245    |
| 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 2,005    | 1,487    | 1,336    | 1,354    |
| ROE                     | 13.1%    | 9.1%     | 8.0%以上   |          |

#### 2. 背景

今後の見通しにつきましては、わが国経済は国内の雇用・所得環境が改善するなかで緩やかな回復が続くことが期待される一方で、物価や賃金の継続的な上昇が見込まれます。当社グループを取り巻く経営環境としましては、売上高の大部分を介護・医療・障害福祉といった保険制度の報酬体系に依拠するため、価格転嫁の出来ない事業特性に対して高まるインフレ圧力や人材の獲得競争の激化などにより収益構造が大きく変化しており、これまで以上に外部環境の変化に対する柔軟な対応が求められる状況と認識しております。超高齢社会を背景に今後もサービスに対する需要の増加が予想されている一方で、生産年齢

人口の減少とともに人材の確保がより一層厳しさを増しており、労働集約型産業にとって労働力不足は深刻な課題であるものの劇的な変化は期待できないことから、「生産性の向上」と「リテンション」を最優先課題とし、その解決策として2025年4月に組織変更を行い新設されたデジタル戦略本部のもと「ICT基盤の全面刷新」に本格着手し、デジタルシフト推進に注力することを決定しております。生成AI技術も活用した拡張・進化型の基盤の構築とデジタルツールの配置、蓄積されたデータの利活用などを通して間接業務の効率化・自動化も進め、生産性向上を図ります。第一段階としましては次回の2027年度介護報酬改定までの2年間で基幹業務システムである介護保険請求システムの全面刷新と訪問看護及び訪問介護現場全スタッフへのスマートフォンの配付などを行い、現場のデジタル化による生産性向上はもちろんのこと、社内コミュニケーションの活性化や人材育成、サービス品質の向上、新たな価値の創出にも繋げていく予定です。当中期経営計画期間中においては、これらの開発コストや導入費用、システム移行に伴うサポート体制整備による人件費などの増加が見込まれておりますが、その一方で、これらは中長期的に効果が表れてくる取り組みでもあるためコスト先行を前提としております。

短期的な取り組みとしましては、“既存拠点の成長鈍化”、“新規開設拠点の立ち上がりスピードの遅れ”、“M&A 拠点の収益改善”を反省点として捉え、新規開設の早期黒字化に特化した「新規開設支援部」、M&A で取得した拠点の早期での収益貢献化に特化した「M&A 推進室」をそれぞれ新設し専任の人材を配置しております。既存拠点については引き続き業容転換や統廃合を進めつつ、商品力・オペレーション・専門性の観点からも見直しを図ります。また、当社グループの事業成長戦略の要であるコミュニティ No. 1 戦略についても更にスピード感を上げ、これまでの量の戦略から質の戦略へシフトチェンジさせながら次回制度改正までにセントケア版地域包括ケアシステムとして優位性のある独自のビジネスモデルへと確立させてまいります。

その他、継続的な待遇改善や休暇制度の整備・働き方の多様化に向けた改善などによる人件費の増加や物価高による経費の増加なども見込んだ業績目標としております。

(注) 上記の目標数値等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績等は、多様なリスクや不確定要素の影響を受け、結果は将来の展望と著しく異なる可能性があります。

### 3. 目標とする経営指標

当社グループは、継続的な成長及び株主価値の最大化を目標としており、売上高成長率6% (2025年3月期: 4.1%)、売上高営業利益率6~7% (同 4.3%)、ROE12%以上 (同 9.1%) の達成に努めてまいります。当中期経営計画期間中におきましては上述の背景と要因から目標水準には届いておりませんが、事業基盤の再構築に取り組み、次期中期経営計画期間 (2028-2030) での達成・維持に向けて体制を整備してまいります。

### 4. 財務戦略目標および配当方針

2025年3月期の業績および業績目標の見直しに伴いまして、「財務戦略目標および配当方針」につきましても下記のとおり見直しております。

(見直し前)

当中期経営計画は、引き続き財務上の安全性、健全性を確保しながら、積極的なM&Aを含む成長に向けた投資と株主還元をバランスに配慮し進めてまいります。配当につきましては増配継続とともに将来的に配当性向40%台を目指してまいります。

(見直し後)

当中期経営計画は、昨今の大きな事業環境の変化に対応すべく、将来の成長のための基盤整備への投資などに注力することを最重要テーマとして推進してまいります。一方で、株主の皆様への安定的な還元を重視し、配当につきましては増配を継続しつつ、配当性向は一時的な業績の変動に左右されない水準として40%以上を基本方針として、さらなる向上にも取り組んでまいります。

※「新中期経営計画 2025 - 2027」の詳細につきましては、当社ウェブサイトに掲載しておりますので、合わせてご参照ください。

当社ウェブサイト：<https://www.saint-care.com/ir/strategy/>

以上